

令和2年10月12日

所沢市医師会 会員の皆様へ

感染症担当理事  
赤津

新型コロナウイルス感染症対応について（第26報）

10月6日付埼玉県医師会発で「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備に関する説明会について」の文書が発簡され、所沢市医師会 A 会員へ配布中です。内容をご確認頂き、自院での発熱患者に対する対応を決める参考となさして下さい。狭山保健所管内の医療機関に対する説明会は10月18日（日）午後1時から2時30分まで入間市産業文化センターで予定されています。埼玉県医師会 FAX ニュースの県医師会理事会速報には、金井会長からのお言葉で「全ての医療機関で診ていただけたら有難い」とありました。

記

1. 次のインフルエンザ流行に備えた体制整備に関する説明会について

前回お示しした「診療・検査医療機関」の具体的事業説明となります。発熱患者に対する自院のスタンスを決める重要な内容ですので、是非、内容の確認、または当日、御参集頂ければと思います。尚、説明会に参加できない場合を念頭にWEB特設ページがすでに設定されており、内容確認ができます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/corona-sitei/top.html>

この中には、行政手続き、事業説明だけでなく、実際にこれからの診療に必要な以下のガイドライン、患者に渡す案内の文書、検体採取のガイドライン等が網羅されています。当日の説明会では網羅できない情報が記載されていますので事前に、必ず、ご覧になることを強くお勧めします。所沢市医師会会員専用ホームページにもリンクを張ります。重要な資料は以下の通りです。

- ・インフルエンザ流行時の新型コロナウイルス感染症診療のガイドライン（第1版）（PDF：610KB）（埼玉県、埼玉県医師会の共同作成です）
- ・診療ガイドライン 資料1（抗インフルエンザ薬の処方を受けられた方へ）（ワード：21KB）（ワード：自院でお使いになれる文章です）
- ・診療ガイドライン 資料2（新型コロナウイルスの検査を受けられた方へ）（ワード：20KB）（ワード：自院でお使いになれる文章です）
- ・令和2年10月2日付 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部 事務連絡（PDF：2,652KB）新型コロナウイルス感染症に係る核酸検出検査、抗原定量検査及び抗原定性検査の検体として新たに鼻腔検体を活用することが可能となったことを示す事務連絡ですが、この文書の添付書類に極めて重要な文書が添付されています（新型コロナウイルス感染症病原体検査の指針第1版、並びに新型コロナウイルス感染症に対する感染管理 2020年10月2日改定版）。  
※：以上の文書は全て、所沢市医師会ホームページ会員専用ページの新型コロナウイルス感染症の部分にアップします。

2. 所沢市での新規患者の発生状況

感染患者数は減少しておりますが、散発的に発生しています。

([https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kenko/oshirase/tokorozawa\\_corona.html](https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kenko/oshirase/tokorozawa_corona.html))

8/30-9/5	9/6-9/12	9/13-9/19	9/20-9/26	9/27-10/3	10/4-10/5
17	8	7	12	6	1

3. 医師会 PCR センターの実績について（6－9 月分、検体持ち込みも含む）

9 月は検体数が減少しています。自院での整備の進行と患者減少のためと推察します。引き続き、センターの御活用をお願い致します。

	6 月	7 月	8 月	9 月
検体数	43 件	95 件	62 件	25 件
陽性者	0 名	6 名	4 件	1 名

4. 11 月以降の PCR センター担当医師について、

アンケートご協力有難うございました。県からの継続指示の文書が来ましたら個別に調整させていただきますのでお待ち下さい。

5. PCR センターの業務内容の見直しについて

現在は屋外のテントを使用し、鼻咽腔からの検体採取を行っていますが、PCR 検体として唾液や鼻腔拭い液の使用が認められました。所沢市市民医療センターでは、プレハブを用いた PCR 検査対応を行う予定があり、医師会 PCR センターの運用も見直しをする可能性があります。実際の運用が変更となる場合は理事会での決議を経て、速やかに会員へ連絡致します。

6. PCR 検体の容器について

PCR 検体を入れる容器は検査会社 BML が指定した物を使用しています。直接会社から取り寄せるか、医師会事務局に購入してある物をご使用下さい（有料）。誤った容器に検体を入れて持参された場合は、最悪取り扱えない場合がございます。